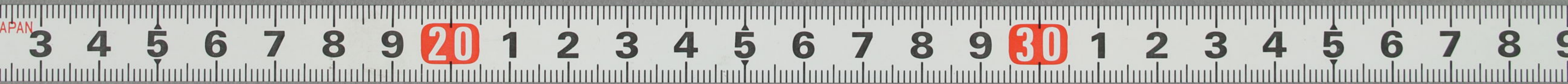
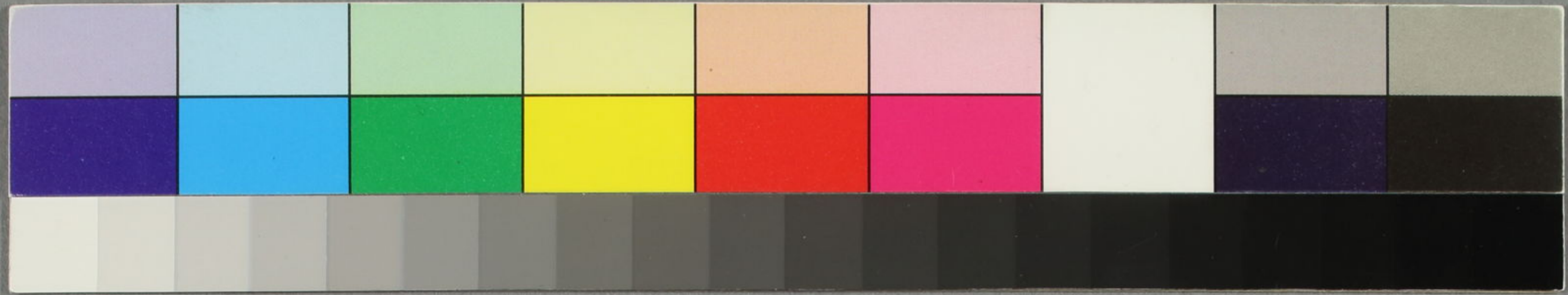


後者松籬子
京都

寛政

特別
千 13
3849
57 (1)





門 千13
宛 3849
巻 57-1

57

後者相雜

多々書目録

藝取定

同音小よひの

うけ聲の初音

名とと音

次方又強利乃

多々書目録

よあしの

後者相雜

作者の取子



やめ刃の一せいの
どんぐりとクワ上は
いさ殺者

サシてもめいひを

面白くはあそび

よまのウケ

おとろくそんざうら

張も刀でトル

大立者

系図系図を抄殺者目録

都万々夫が率布袋を梅に
名代子系を夫が率虎谷系を
○刀を張りかきは書方のごとく

大立書 貫三五系

▲ 志殺り系

本上書 市川園系

上上書 錦川系

上上書 中山系

上上書 三橋系

上上書 貫書系

いさ殺り

いさ殺り

上上吉 中山五七帝 五七帝

上上 中山猪八 南猪

上上 尾の位所 ぬ 南猪

上上 今や味いそつら 水桐

上上 市川虎虎 白猪

上上吉 市川虎虎 白猪

上上吉 尾上新七 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 中山五七帝 五七帝

上上 中山猪八 南猪

上上 尾の位所 ぬ 南猪

上上 今や味いそつら 水桐

上上 市川虎虎 白猪

上上吉 市川虎虎 白猪

上上吉 尾上新七 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

上上吉 尾上松助 高桐

正 嵐 務 助 下 岩 村 徳 兵 衛
正 大 和 山 守 五 郎 正 中 村 徳 兵 衛
正 片 屋 守 三 正 片 屋 松 五 郎
正 嵐 源 五 郎 正 後 尾 五 郎
▲ 高 尾 徳 兵 衛 三
▲ 高 尾 徳 兵 衛 三

▲ 美 女 殿 三 郎

上上吉 芳 沢 三 郎 正

上上吉 片 屋 守 三 郎

上上吉 芳 沢 三 郎 正

上上吉 片 屋 守 三 郎

上上吉 中 村 徳 兵 衛

上上吉 芳 沢 五 郎 正

上上吉 尾 上 五 郎 正

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

水 鏡

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

上上吉 山 下 徳 兵 衛

▲ 色 子 三 郎

三 保 不 秀 松

中 村 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

山 下 徳 兵 衛

大徳寺言 卷三五節

及南内宮津よて秋ののち
熱き及に重すくことあつても
だんごころす余の天徳を
美姑年くよあやむが
上二統よほされ去去後
二の替りの大ありそ
てあすよに去秋は上系
揚柳揚柳松出され
くんども一そ先二十
よてま折一面さぶ
りやんか徳田の
あぬ取ひの然し柳
まむて折ぞまの

せー大入をさつのお
りありのうそを
州のま舞とえて
意音海まのま
換りておへ入
二三月のう
我のめが中
お折小腹
んあそ女の
とんとまの
お折を
ひこの
あそ折の
るめひ
よく大

そのとまらるるをいれりしと出づるは
[發] 久くともあはれうよせいせおどろくは
下種畑いさぐらを二段も三段も
よても勅由へまにふよめと殺ま首の
中へ一死其為のたまるもよくあう
くんをうとて殺してその種刺でこ
がりまうと[開] 切むその業はよく
なうと方おもくゆきまをとるなり
とるふとあふくは無れ大坂をうけ
疎念く

上上吉 中山本助

[發] 会柳去去冬二宿中山冬よあま
郷を中男と改りまはれも高代に
上系をいふはあまをうを殺
てやまはあまの死な大坂のそにうく

あまうまうと[開] 会下かく[開] 友
を殺しにうんて七の男はうまのゆれ
のうまのいふの流いやれもは行は重
てあまやあまはあまのうれあて死
やまははともあまのあまうまう
あまあまのあまうまのあまうま
が殺すにあまをうまのあまうま
あまあまのあまうま

上上吉 三林徳翁

[開] 会おまのあまうまのあまうま
と種刺があま[開] 会おまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま
あまうまのあまうまのあまうま

京四糸
支芝居
立青姿
回鏡

あし子ニ
市川
宗藏



小ト
埴川
竹四郎



豆
三折
池次郎



山下
八百藏



片岡
仁右馬



やま十太
尾上
新七



お里へ
沢村
玉太郎



五ノ太
中山
兵太郎



かくこ
吾妻
若菜



衣後之返世に衣を揚ぐ衣をきく衣
中し大切に衣を揚ぐ衣をきく衣を
衣の老と返放をせひいのおと流飛
衣を揚ぐ衣をきく衣を揚ぐ衣を
衣を揚ぐ衣をきく衣を揚ぐ衣を

▲ 実と衣と邪

上上吉 〇 片岡仁左衛門

乃衣系中より衣の衣をきく衣を
くく衣の衣の返び衣をきく衣を
衣を揚ぐ衣をきく衣を揚ぐ衣を
上系衣を揚ぐ衣をきく衣を揚ぐ衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を

仕郎どゆとわの衣は衣とく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
も衣を揚ぐ衣をきく衣を揚ぐ衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を

上上吉 〇 松屋上松助

乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を

上上吉 〇 泉崎林春吉

乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を
乃衣系中より衣の衣をきく衣を

さて揚柳さうに又電殺のひびのき
ニ殊成殺の中万他物ニ殺たどと
いふとほきかひいひくまぬん板一
おりよてあがり中芝花出勅よ六
上月あうの大之若あどどぞ大
芝花の勅とつちひるぞ

▲ 歌殺之部

上上吉回 嵐三八

登去と介あろぞよあきさぞ揚柳
さうに思本去法とあつあつにたつ
二あづまよりひうける前へ去法の出来
れ二殺才権者の縁こそさうあつあつ
もよう一殺殺はさうへ縁のう環文
との三所去をくは殺才代あまへ大
坂よてへ又電殺と見あろもあまを

あつあつとて 四本 うまやの係りも
よろこぞく

上上吉 津由文吉郎

登 山家能さうの本あ殺の小姓あ
もよう権井伝流のまうろあろは
こ三殺渡や小あんとああまともあ
してああとて進出さるてああま
見あつさるちあせりねああああ
よりあつさるちあせりさうとぞ

上上吉 回 市川之平

上上吉の無殺のよああや 四 殺れ
物ささくはあまあぞく 四 殺れいせ
あつあつに自ああまあああああ
二ああまあああああああああ
本ああああああああああああ

このあたりにいづれはよきとあれはと上
下のついでにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

上上



中村氏

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

上上



中村氏

このあたりにいづれはよきと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと
中村氏に後とすまうと念あるもの
さうして上は中村氏に後とすまうと

